

各地の話題 山元町

廃校を醸造所に再利用 地ビールでまちおこし

2026年3月20日号掲載

全国農業
新聞
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

山元町の地域おこし協力隊として、2024年4月に就任した半田成さんは、2021年3月に学校再編のため廃校となった中学校の給食室をリノベーションし、クラフトビール醸造所「Faló(ファロ) Brewing(ブルーイング)」を立ち上げるとともに、地域内外の人々が集う「サードプレイス」の創出に向け、日々取り組んでいる。

半田さんは「自分がこれまで培ってきた醸造の経験を活かし、おいしいビールを作るだけでなく、ビールを通じて町の人々が集い、交流できる場を提供したい。そして、今後は地域の人たちと一緒に新しいビールのアイデアや醸造所のあり方を作っていく。その過程が楽しみ」と語る。

昨年11月には、地元農園のユズを使ったクラフトビールの醸造にも取り組んだ。地域おこし協力隊としての任期は3年間だが、将来的には町の特産品として町外や県内、そして全国展開に向け期待が高まる。

【記事提供】 山元町農業委員会

クラフトビールを手に半田さん



醸造されたクラフトビール「Faló IPA」(左)と「ファロブルーイング ツバメドラフト」

